



A CELEBRATION OF BRITISH ARTS

英国祭

TUTULAND



AI HALL DANCE COLLECTION Vol.3

PRESENTED BY TUTULAND



1990年12月13日(木)・16日(日)

会場：AI HALL (伊丹市立演劇ホール) (JR大阪駅より15分 JR伊丹駅前) 開演：13(木)・14(金)＝7:00、15(土)＝2:00、7:00、16(日)＝2:00 ※開場は、開演の30分前

料金：前売り＝3,500 当日＝4,000円 (整理番号付自由席券) ロイヤル・ロマンスシート(ツインベッド)限定6席：15,000円

高級舞踊家 ● ニコラス・ディクソン マシュー・ホーキンス 巻上公一 上原まゆみ 坂木真司 堀内かおり 足川欽也 中沼梨花

Nikolas Dixon Matthew Hawkins Koichi Makigami Mayumi Uehara Shinji Sakaki Kaori Horiuchi Kinya Ashikawa Rika Nakamura Koji Ueno Nobutaka Kotake

高級演出家 ● 巻上公一 高級振付師 ● ニコラス・ディクソン 高級音楽師 ● 上野耕路 高級舞台装置家 ● 小竹信節

高級衣裳家 ● バール 高級衣裳制作家 ● アリエHINODE 高級音楽家 ● 山本浩一 (サウンドクラブ) 高級照明家 ● 小林賢+ZEST 高級舞台監督 ● 金子昭+ZEST 高級宣伝美術家 ● 高橋雅之+K2

高級企画 ● チュチュランド 高級制作 ● エヌ・ツー 高級後援 ● THE BRITISH COUNCIL/BRITISH EMBASSY 高級通訳教師 ● 石黒典生

予約・問合わせ ● ヴィレッヂ 06-315-6159 AI HALL 0727-82-2000 前売り開始日 ● 10月20日(土) 前売り取り扱い ● チケットぴあ 06-363-9999

チケットゼン 06-308-9999 関西プレイガイド協会 06-346-0571 AI HALL 0727-82-2000 主催 ● 伊丹市



A CELEBRATION OF BRITISH ARTS

英国祭



A CELEBRATION OF BRITISH ARTS

英国祭

日本そばと納豆に魅せられた振り付け師ニコラス・ディクソンが、温泉好きでロックグループヒカシューの巻上公一に新しいバレエの共同制作を依頼したのがそもそものはじまりだった。巻上は、当時秘密のチョコレート工場に秘めごとにいそんでいた舞台美術家の小竹信節を紹介し、香港バレエフェスティバルのために「そばでよければ」（1985）を製作。この奇妙な出会いがきっかけとなり3人は、チュチュランドアカデミーなるスタッフだけのバレエ団をつくり、「なにかも踊れ」（1987）で旗上げ。平均的バレエから



肉体も精神も逸脱気味な世界を提示した。そんな様子を、バレエ音楽を夢見ていた上野耕路は羨ましく思い、もう、我慢できずにチュチュランドに参加。「あたま割り人形」（1987）を一気に書き上げた。これで最高のラインナップが整った。このメンバーによる「弁天とミュージズ」（1989）、さらに作曲に三田超人も加わった「自殺なディスコ」（1989）と意欲作を発表。そして、この90年代チュチュランドが正式な国家になるのは、最早、時間の問題と言えよう。

チュチュランド

～美少女キワワの怪奇なる恋の脳リターン～

世界はクリスマス
森の中にひっそりと建つ エッチなラブホテル
呪術師グルンダの造ったクリリップが 他を違うような唸り声をあげていた
しあわせなカップルたちの 相次ぐ悲劇 美少女キワワの 愛くるしい脳みぞ踊り 妖しい視床下部のうごめき
月も星も遺伝子もびっくり 事態はめくるめく へんごこりんの彼方へ

巻上公一

独特な過激さで、妙な温か味を持った音楽集団「ヒカシュー」のリーダー。圧倒的な声のかど自在なパフォーマンスで、様々な分野の活動を展開している。78年、ヒカシュー結成。アルバムも多数発売。演劇は、劇団青い鳥スペシャル公演「クラウド9」（'85/'86）F・アラバール作・演出「大典礼」（'85）高橋悠治のオペラ「カフカ」（'87/'90）ホテルを使った推理劇「神祕の女王の戦慄」の主演など。最近、CM「じゃらん」「三共ルルの歌」「解決リコマン」などの歌唱が話題となり、5/2BGMビクターより「平成じゃらん節」が発売された。ヒカシューのニューアルバム「丁寧なおもてなし」は、10/21にバップレコードから発売。

上野耕路 (作曲家)

8/12に参加。ハルメズなどの活動を経て、グルニカを結成。'83戦前の無声映画に音楽をつけたソロアルバム「MUSIC FOR SILENT MOVIES」を発表。その後は、坂本龍一との共同作業で「ラストエンペラー」他の映画音楽を担当、'87「あたま割り人形」でチュチュランドに参加。ライブ、演劇、バレエ、映画、コマーシャル、編曲など幅広いジャンルで活躍する。'88グルニカの活動を再開、「新世紀への運河」「電離層からの眼指し」を発表。'89「弁天とミュージズ」音楽担当。「ウタマギルー」で毎日映画コンクール音楽賞を受賞。コンサート活動も積極的に行っている。来年1月10日～15日スパイラルホール「新機械劇場」(美術 小竹信節)に出演。

ニコラス・ディクソン (振付家・ダンサー)

ロイヤルバレエスクールにてバレエを学んだ後、1976年ロイヤルバレエ団に所属。「ロミオとジュリエット」「白鳥の湖」のプリンスとして出演。振付は「SPIRIT OF THE AGE」('76)「BLACK DANCE」('79)「ANDROIDS」('81)他、主なオリジナル作品は「SIAMESE TWINS」('83)(音楽THE CURE)。その後来日、小林紀子バレエ団にプリンシパルダンサー及び振付として入団。多数の振付をする。1987年、制作バレエプロジェクトチュチュランドを結成する。以来、「何もかも踊れ」('87)「あたま割り人形」('87)「自殺なディスコ」(弁天とミュージズ)('89)を公演。また、三上博史、ソフトバレエなどのコンサート、コシノジュンコファッションショー等の振付及びダンサーとして出演し注目されている。

小竹信節 (舞台美術家 造形作家)

1975～83年演劇実験室「天井桟敷」の美術監督として、後期寺山修司全作品の舞台装置・機械・衣裳・メイクアップ・照明・映画美術を担当。以降、沢田研二、松田聖子などのコンサートツアー、劇団青い鳥、東京グローブ座などの舞台美術を手掛ける。また、造形作家として、個展2回、企画展などにも多数参加。1987年フランスCIRCA主催「Les Machines Sentimentales」パリ・ボンビドーセンター、アビニョン・フェスティバル他各地に、アジアから唯一人招待出品。1991年、ワコール・スパイラルホール芸術監督。武蔵野美術大学講師。アートディレクターズクラブ金賞、ニューヨーク・アートディレクターズクラブ銀賞など、その他多数の賞を受賞。

	13(木)	14(金)	15(土)	16(日)
2:00			●	●
7:00	●	●	●	

◆開演は、開演の30分前